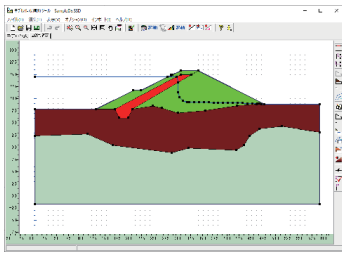
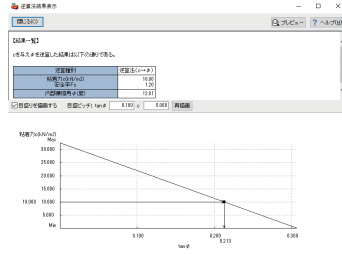


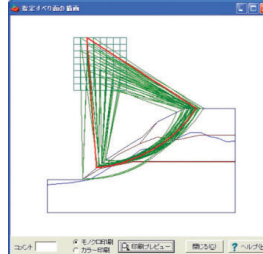
▼モデル作成補助ツール



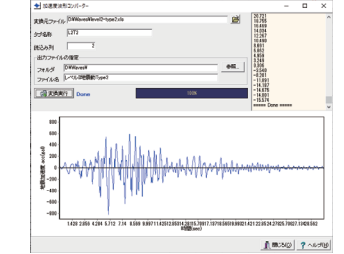
▼c-φ逆解析



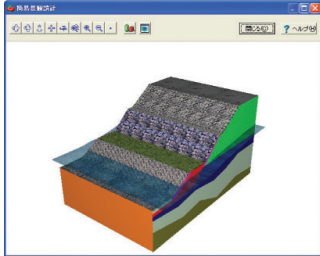
▼複数すべり面の同時描画



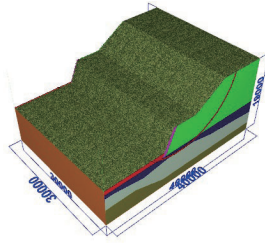
▼加速度波形コンバータ



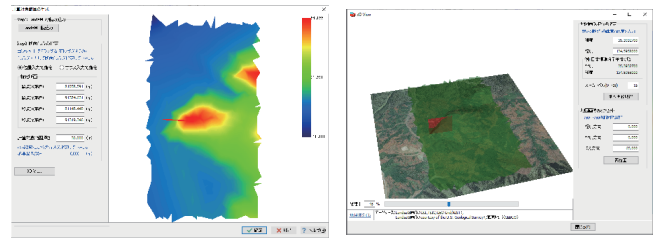
▼簡易景観設計のテクスチャ設定



▼3Dアノテーション機能



▼LandXMLによる計算対象範囲生成



参考文献

1. 道路土工要綱 平成21年6月 (社)日本道路協会
2. 道路土工 切土工・斜面安定工指針 平成21年6月 (社)日本道路協会
3. 道路土工 のり面工・斜面安定工指針 平成11年3月 (社)日本道路協会
4. 道路土工 軟弱地盤対策工指針 平成24年8月 (社)日本道路協会
5. 設計要領第一集 土工 令和2年7月 東日本高速道路株式会社, 中日本高速道路株式会社, 西日本高速道路株式会社
6. 鉄道構造物等設計標準・同解説 土構造物 平成19年1月, (財)鉄道総合研究所
7. 鉄道構造物等設計標準・同解説 耐震設計 平成24年9月, (財)鉄道総合研究所
8. 宅地耐震設計指針(案) 昭和59年3月, 住宅・都市整備都市開発局
9. 港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成11年4月, (社)日本港湾協会
10. 港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成19年9月, (社)日本港湾協会
11. 港湾の施設の技術上の基準・同解説 平成30年5月, (公社)日本港湾協会
12. 建設省河川砂防技術基準(案) 設計編(II) 平成9年10月, (社)日本河川協会編
13. 多目的ダムの建設 設計編 昭和62年, (財)ダム技術センター
14. 建設省河川砂防技術基準(案) 設計編(Ⅰ) 平成9年10月, (社)日本河川協会編
15. 第二次改訂ダム設計基準 1978年8月, (社)日本ダム会議
16. 土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」技術書(フィルダム編), 平成15年4月, 農林水産省農村振興局
17. 土地改良事業計画設計基準 設計「ダム」基準書 技術書(共通編), 平成15年4月, 農林水産省農村振興局
18. 土地改良事業計画設計基準 計画「農地地すべり防止対策」, 平成16年3月, 農林水産省農村振興局計画部資源開発課
19. 土地改良事業設計指針 [ため池整備] 平成18年2月, 農林水産省農村振興局整備部設計課
20. 土地改良施設 耐震設計の手引き 平成16年3月農林水産省農村振興局整備部設計課
21. 防災調節池等技術基準(案) 平成19年9月, (社)日本河川協会
22. 河川堤防節地の構造検討の手引き 平成24年2月, (財)国土技術研究センター
23. 中小河川における堤防点検・対策の手引き(案) 平成16年11月, (財)国土技術研究センター
24. 高規格堤防盛土設計・施工マニュアル 平成12年3月, (財)リバーフロント整備センター
25. 新版 地すべり鋼管杭設計要領 2003年6月, (社)地すべり対策技術協会
26. 多目的ダムの建設 調査編 昭和62年, (財)ダム技術センター
27. 貯水池周辺の地すべり調査と対策 2010年12月, (財)国土開発センター
28. 土質工学ハンドブック 第7章(斜面安定) 昭和61年10月, (社)土質工学会
29. 斜面安定解析入門 平成13年4月, (社)地盤工学会
30. 港湾構造物設計事例集 平成19年3月 (財)沿岸技術研究センター
31. 漁港・漁場の施設の設計の手引き 2003年版 (社)全国漁港漁場協会
32. 漁港・漁場構造物設計計算例 平成16年 (社)全国漁港漁場協会
33. 道路標示方書・同解説 V耐震設計編 平成29年7月版 (社)日本道路協会
34. 河川堤防の液状化対策工法設計施工マニュアル(案) 平成9年10月 建設省土木研究所 耐震技術研究センター-動土質研究室
35. 屋外タンク貯蔵所基礎の規制基準(杭基礎及びリング基礎について) 解説 昭和58年1月 (社)土木学会監修 危険物技術研究会編
36. 宅地防災マニュアルの解説(第三次改訂版) 令和4年2月 きょうせい

共同溝の耐震計算

プログラム価格
¥211,200
(税抜¥192,000)

液状化の判定、液状化による浮上り照査、
縦断方向の耐震設計を行うプログラム

Windows 10/11 対応
電子納品

トンネル断面算定

プログラム価格
¥233,200
(税抜¥212,000)

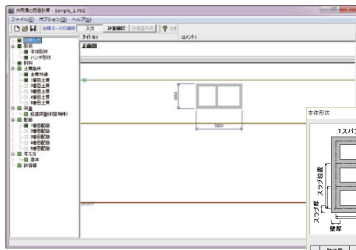
NATMトンネルの設計業務において幾何学的要素で決定される項目の計算を支援

Windows 10/11 対応
電子納品

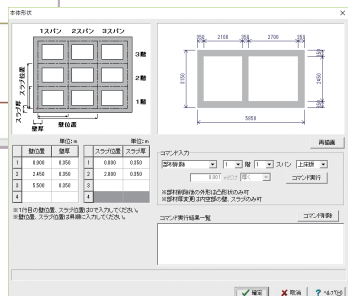
「共同溝設計指針 (S.61.3)」を参考に、地盤の液状化の判定、共同溝の液状化による浮上り照査、共同溝の縦断方向の耐震設計を行うプログラムです。

- 液状化、共同溝の浮上りの検討、共同溝の耐震設計を同時に5ヶ所まで計算
- すべての検討でレベル1地震時を対象
- 地盤種別は、特性値から求める方法、当該地盤の地層構成から選択
- 共同溝形状は、3連3階までで各種形状を取り扱い可能
- 液状化の判定、液状化による浮上り照査に対応
- 縦断方向の耐震設計: 軟弱地盤部、地盤条件変化部についての耐震設計

▼メイン画面



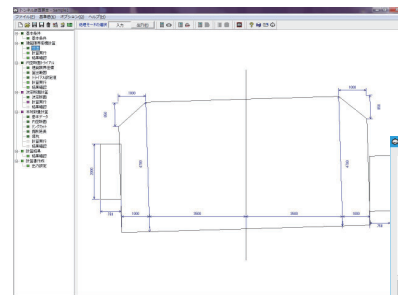
▼形状入力画面



「設計要領 第三集 トンネル編」を主たる適用基準とし、NATMトンネルの設計業務において幾何学的要素で決定される項目の計算を支援するプログラムです。

- 内空断面形状: 3心円
- 横断勾配: 片勾配、拌み勾配
- 建築限界: 歩行空間は、設置無し、右側、左側、両側の何れかを指定可能
- インパート・側壁導坑: 設置無し、設置から指定可能
- 内空断面トライアル: 横断勾配は、最大3ケースまで指定可能
- 車道部建築限界、歩行空間建築限界、決定断面を、「GeoFEAS® 2D」で読み込み可能な地盤解析用地形データファイル形式で出力可能

▼メイン画面



▼地盤解析ファイル出力設定画面

